

活動報告（7月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 農地整備課

表題：ため池群馬込川地区（西ノ谷奥池）の在来種のみを使った植生状況について

日時：令和5年7月18日（火）

場所：静岡県浜松市



（令和5年7月18日の状況）



（令和5年3月10日の状況）

県営ため池群整備事業ため池群馬込川地区では、4つの池（西ノ谷奥池、蛭沢池、新池、夜水沢池）の耐震対策事業を実施しています。その中で、西ノ谷奥池は、静岡県立森林公園内にあり、自然豊かな農業用ため池となっております。

通常、植生シート・植生マットは、外来種が混じっているものが多いのですが、自然に配慮し、西ノ谷奥池では、全て在来種で出来た植生マット・植生シートを使用しました。

日当たりも良く、環境も優れているため、植生がとても映えている状況です。

在来種に詳しい日本植生の方からも、「とても良く育っている、既存の植生とマッチしており、とても良い状況」というコメントを頂きました。

これからも、景観配慮を意識して、農業農村整備事業を実施してまいります。